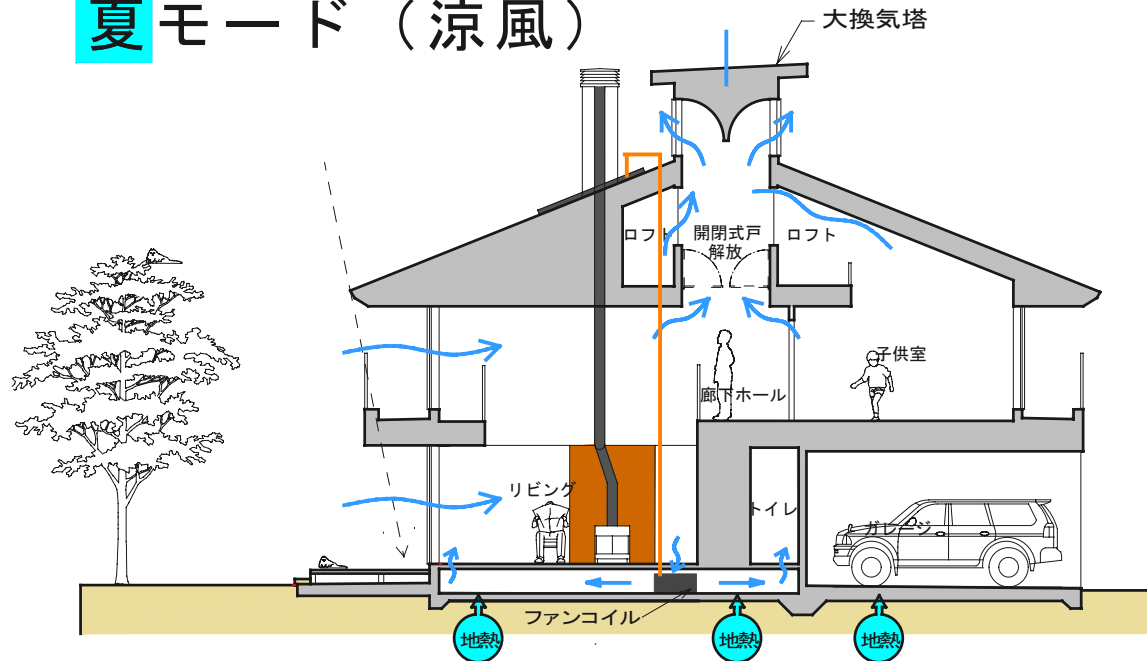


アクティブソーラー

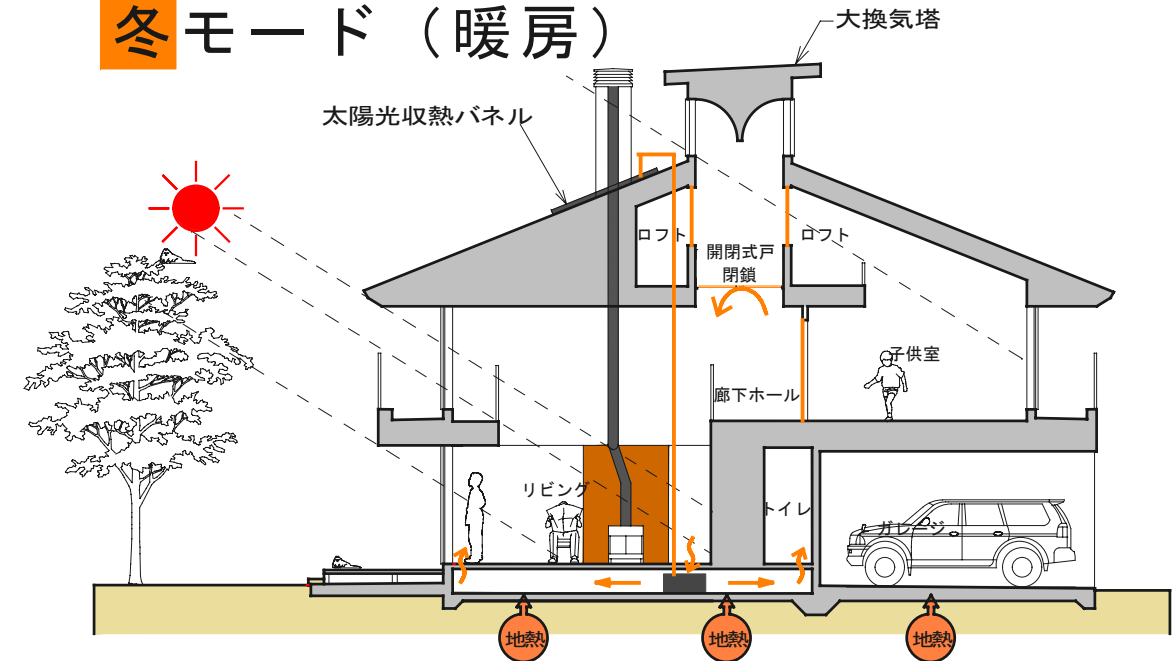
夏モード（涼風）



■ 年間を通して、18度の地熱を利用する

ソーラパネルによって収熱された熱媒は、貯湯槽のお湯を沸し、夏場は、お風呂も沸かす必要がありません。
年間を通して一定の温度を保つ地熱を利用して、床下を通じた空気は、湿気が低減して、ドライな空気として放出され、蒸し暑い夏の日でも、快適です。

冬モード（暖房）

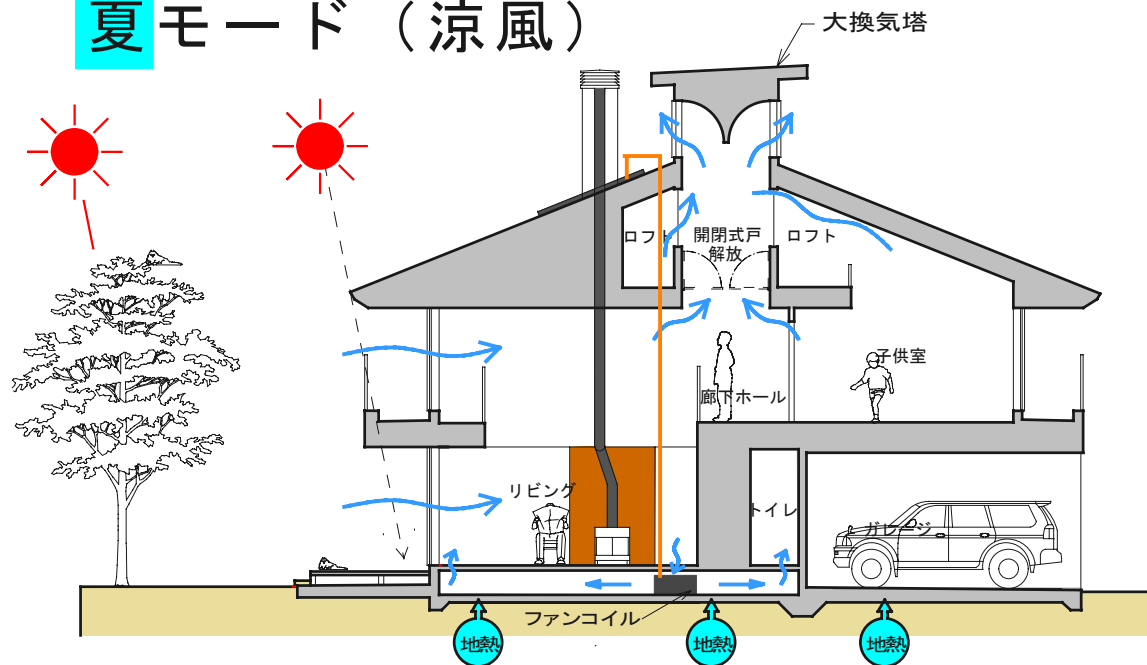


■ 年間を通して、18度の地熱を利用する

ソーラパネルによって収熱された熱媒は、床下のファンコイルユニットを通して、空気を暖めその暖められた空気が床下コンクリートを蓄熱します。
蓄熱コンクリートは、太陽が沈んだ後、徐々に放熱を開始し、吹き出し口より、放出し、部屋を暖めます。
曇り時や、日没後は、補助暖房として、ペレットストーブを使用します。

パッシブソーラ

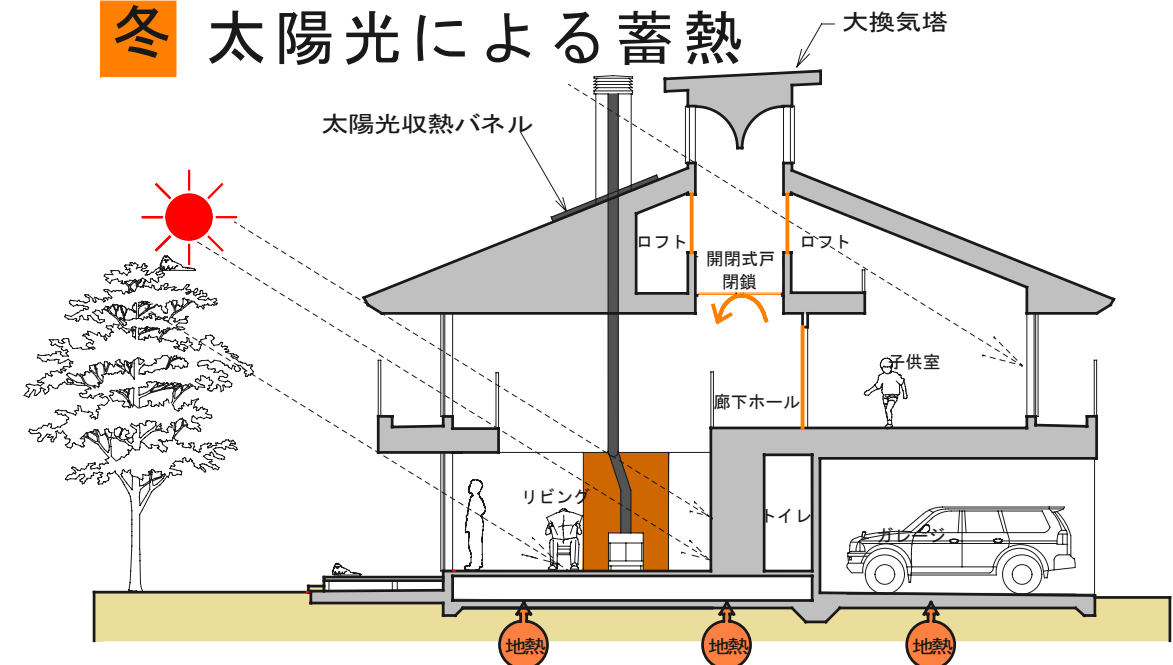
夏モード（涼風）



■ 年間を通して、18度の地熱を利用する

大換気塔の開閉式戸を開放して、高低差を利用したチムニー効果（煙突効果）により自然の涼風を呼び込みます。

冬 太陽光による蓄熱



床、壁にダイレクトゲインの熱を蓄熱し、部屋を暖めます。
大換気塔の開閉式戸を閉鎖して、気積を少なくして、熱の損失を抑える。